

祝松戸市人口50万人到達

マイセン コレクション展

2025年

2月1日(土)～

3月9日(日)

開館時間：9:30～17:00
(入館は16:30まで)

休館日：毎週月曜
(2月24日は開館し、
翌25日休館)

戸定歴史館
TOJO MUSEUM OF HISTORY

入館料：

一般300(240)円

高大生100(80)円

(戸定邸との共通入館料)

一般500(400)円

高大生160(120)円

()内は20名以上の団体料金

※中学生以下、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保険福祉手帳の交付を受けている人とその介護者1名は無料(手帳をご提示ください)

※市内在住70歳以上の方は一般団体料金と同額(住所と年齢を確認できるものをご提示ください)

主催：松戸市教育委員会

後援：JOBANアートライン協議会、
北総線沿線地域活性化協議会

協力：新京成電鉄株式会社、流鉄株式会社



17世紀、ヨーロッパの王侯貴族や一部の裕福な商人の間では、日本や中国から輸入された東洋の磁器が流行していました。特にヨーロッパにはない透き通った白色の磁器は人々を強く惹きつけ、各地で東洋磁器が研究されましたが、その製造方法は長らく謎に包まれていました。

1709年、ドイツ東部の街マイセンで、ヨーロッパ初となる白色硬質磁器の生産に成功します。翌1710年、ザクセン公アウグスト2世の命により王立マイセン磁器製作所が設置されました。設立から300年以上経った現在も、マイセン磁器製作所は伝統的なラインから最先端のデザインまで多様な製品を生み出しつづけ、ドイツの名窯として世界的に知られています。

令和4年度、松戸市は実業家である土屋亮平氏よりマイセン磁器コレクション152点の寄贈を受けました。これらはマイセン設立から現代に至るまでを網羅する非常に貴重な作品群です。本展では寄贈を受けたコレクションの中から約38点を公開し、華麗なマイセン磁器の魅力をご紹介します。

●ギャラリートーク

専門家が展覧会の見どころを解説します。

場所：戸定歴史館展示室

定員：各回15名程度

参加費：無料 ※要展覧会チケット

参加方法：事前予約制(松戸市オンライン申請にて申込)

※応募多数の場合は抽選

所要時間：各回40分程度

講師・日時：

・林克彦氏(五島美術館学芸部長)

「東洋の陶磁器とマイセン」 2月9日(日)14:00～

・池田まゆみ氏(北澤美術館主席学芸員)

「マイセンの魅力」 2月15日(土)14:00～

●ワークショップ (ポーセラーツ体験)

16cmのプレートに転写シールを使用して絵付け体験をします。

焼成した作品は後日着払いにて郵送します。

日時：2月22日(土)14:00～16:00

場所：松雲亭(戸定歴史が丘公園敷地内)

定員：20名 ※松戸市在住の18歳以上。

参加費：2,200円(別途作品送料)

参加方法：事前予約制(松戸市オンライン申請にて申込)

※応募多数の場合は抽選

講師：嶋野育代氏(ポーセラーツサロンPuamana主宰)

※ギャラリートーク、ワークショップの申し込みは

「松戸市デジタル美術館」からご確認ください。▶▶



〔展覧会に関するお問合せ〕

松戸市教育委員会文化財保存活用課

TEL: 047-365-0858 (平日8:30～17:00)

E-mail: mcbunkazai@city.matsudo.chiba.jp



〔交通アクセス〕

松戸市戸定歴史館

TEL: 047-362-2050

〒271-0092

松戸市松戸714-1

JR常磐線・新京成線松戸駅

東口下車徒歩約10分

〔駐車場〕

・乗用車46台

・バス5台

※バスのみ電話にて要予約



1



3



5



7



2



4



6



8